

# 教育支援プログラム(A)

SEINAN  
GAKUIN

取組名称	キャリア発達支援プログラム
取組学部等	人間科学部心
取組期間	2020年度

## 取組概要

大学生にとって、社会的職業的自立に向けて自分らしい将来のキャリアをイメージし進路選択に臨むことは重要な課題である。本取組では、キャリア観の形成と職業キャリア選択のための以下のような様々な角度からの活動と支援を行う。

### (1) 将来のキャリアイメージを深めるための取組

学生から社会人への移行期にあたる大学時代に、生涯にわたって連続するキャリアを見通し、どのように生きるのか、どんな社会人になるのかなど生き方や働き方を考え自分なりの独自のキャリア観を形成することが重要である。このような観点から、本取組では、以下のような社会人や先輩との接点となる機会を提供する。

#### □「働くこと」について社会人と語り合うキャリアトーク講座

職業や職種のこと、社会人としての日常生活などについて、仕事からプライベートまでさまざまなことを20～30名程度の少人数で語り合う座談会形式の講座を、主に1・2年次の学生を対象に年に3回実施する。

#### □様々な業界についての知識を深めるお仕事セミナー

福岡県若者しごとサポートセンターの協力を得て、様々な業界の企業の方に参加学生が直接質問しながら知識を深める座談会を、主に1・2年次の学生を対象に年に2回実施する。

#### □卒業生や企業の方を招いた講演会

職業キャリアの発達について、具体的な事例を通じて学び、自らの職業キャリアをイメージするために、座談会と講演会を、主に2・3年次の学生を対象に年に2回実施する。

#### □進路決定者による報告会と就活フェス

4年生の進路決定者数名による報告会を実施する。また、進路決定先の分野ごとにブースを設置し、1・2・3年次の学生が相談や質問をする就活フェスを実施する。

### (2) 専門領域の学修成果をキャリア観獲得において意識化し価値づけるための取組

大学生のキャリア発達を促すうえで、大学で学ぶ学問の実社会との接点や実社会での価値について気づかせるための働きかけを行うことは、大学教育の役割の1つである。本取組では、学生自身が主体的・実践的に参加し、専門領域の学修成果を振り返

り意識化できるよう以下の取組を実施する。

#### □オープンキャンパスにおける体験ブースの企画・運営

オープンキャンパスにおいて、高校生を対象に心理学実験を始めとする専門領域の知識や手法の紹介を、3年次の学生が中心となって企画し、当日の運営を行う。

#### □九州学生心理学会での研究報告と大会運営

3年次の学生が、グループ研究を行い、九州学生心理学会で研究成果発表を行う。また、大会運営を自立的に行い、他大学との交流を行う。

#### □企業と連携したPBL(問題解決型学習)

連携先企業の協力を得て、学科の専門性を用いてグループで実社会の課題を分析し、解決策を考案、企業等に提案する。3年次の学生を対象に行う。

### (3)職業キャリア選択のための準備支援

上記の(1)及び(2)の取組を活かし、具体的な職業キャリア選択に結びつけるための支援として、以下の講座を実施する。

#### □就職活動の動向と取り組むべき事柄について学ぶ講演会

就職活動の動向や、エントリーシート作成をはじめ具体的な活動方法について知り対策を立てるための、外部講師を招いた講演会を主に3年次の学生を対象に年に3回行う。

#### □統計検定対策講座

就職後、即戦力として社会で活かせる統計の知識とスキルを習得するための対策講座を実施する。主に1・2・3年次の学生を対象に実施する。

#### □就職活動に向けた自己分析を進めるキャリアデザイン講座

エントリーシート作成と面接に向けた自己分析をしながら、学生生活を振り返り、自身の特徴や強みを表現する方法を学ぶための全10回の講座を実施する。3年次の学生を対象に1クラス12名程度として3クラス開講する。

#### □就職活動強化講座

企業・業界研究の方法を実践を通して学ぶ企業・業界研究講座と、エントリーシートの作成と添削を行うエントリーシートブラッシュアップ講座を行う。いずれも外部講師を招き、3年次の学生を対象に少人数で複数回開講する。